

家庭



幼児に言ふ小言

ひさ子

おまへはなぜそんな事をするか、どうしておまへはそんなにいたづらなのか、何時の間にそんなおかしやべりにおつたのであらう、どうして言ふことをさかないのか、なぜそんなにさわぐのか、など、小言を言つて、大人が怒に乗じて幼児のした悪い事の原因を詰問するのは、あまり幼児を悪く見過ぎたり、又大人に見過ぐる話ではあります

まいか。九も幼児と申しても、八才九才となれば段々わけが分てまゐりますけれども、六才七才の頃まではまだなか／＼そうはまゐりません。もとより、幼児と大人は心身の發達が實にちがふものである、といふことは、何人も認めて居る知れきつたことではございませうが、其幼児といふ中にも三才と四才ではどんなにちがふか、五才と六才ではどの位であるか、更に進で甲の六才の兒と乙の六才の兒とはどういふ風であるか、といふやうなことはよほど考へてやらなければ、幼児にとりては迷惑な話であると思ひます。まだよく物事のわけが分らないで、自分と他人との區別、自分の所有物と他人の所有物との差別も十分でなく、自分の愉快ばかりをとりたい時代、むやみに物をこわして見たい時代などに、幼児が前後の分別もなく

したいたづら、おもしる半分に善とも悪とも知らずにした事、身体しんたいの活動かつどうのはげしい爲ために自然ぜんぜんに出る動作どうさなどを、一々つかまへてまるで故意こいにしたやうに大人おとなから叱しかられては、随分ずいぶん幼児ようじはつらい話はなしでありませう。一体たいいつ幼児ようじのする良くない事ことの中なかには、眞しんに道德とうとく上じやう責せむべき事こともございませう。又衛またゑい生上せいじやう良くない事こともございませう。又作法またさく上じやう良くないこともございませう。又多人またた數にんずう一緒に居いる處ところならば、管理くわんり上じやうそういふことをしては困こまるといふこともございませう。つまり幼児ようじの良くない行なほひの中なかには誠まことにいろ／＼の物ものが含まかれて居ゐりませう。又こよういふ事ことをする幼児ようじの中なかには、良くないと知りつゝ故意こいにする眞しんに悪わるいものもございませう。何にも知らず、即ち、之これは良くないといふことをまだ大人おとなから教おしへられないために、平氣へいきでするの

もございませう。嘗かつて、一度いちど又は幾度いくばくも大人おとなから悪いと教おしへられた事ことながら、つひそれを忘わすれてしまつて、又またくりかへすのもございませう。此中このちゆうで故意こいにするのは除のぞきまして、次の二つは、幼児ようじが小さければ小さいほど多くある事ことであらうと思おもひます。ほんとうに幼児ようじはまだ善惡ぜんあくの判別はんべつがつかないで、大人おとなから教おしへられ教おしへられる爲ために、其判別そのはんべつが段々だんだんたしかになるもの、又意志またいしが十分に發達はつたつして居ゐらぬものですから、一度いちどや二度にど言いつてさかされたからと言って、まだそれを自分じぶんで實行じやうこうしようといふ處ところまでゆかないものですから、もし知らずにした悪い事わるいことならば、まづそれはしてはいけない事ことである、と教おしへてやらなければなりません。もし又また、知しつては居いるがつひ忘わすれたのであるならば嘗かつて教おしへた事ことを思おもひ出すやうに注意ちゆういを與あたへてや

るか、或は更に新しく、それはいけないといふことを言てきかせてやるかしなければなりません。

こうした場合にまで、何故したかと詰問するのは、適當な方法ではありません、尤も、詰問して至當である行及幼児もありませんけれども、そうでない方が多数であつて、つまり短氣を起して感情的にガミ／＼言ふ小言は、少しも幼児を良くする上に益のない事で、却て害を残します。よほど氣長く訓へ導いてやらなければ、眞に良い人になるものではありません。そこでまづ、大人は、幼児のある良くない行に接した場合に、静に且つ敏捷に其行の種類、輕重、及之に付ての訓へ方、叱り方などを考へてそうして、後に最も良い方法をとるべきでござらぬませう。

そうして、幼児の爲には、何時でも、幼児は幼児

相應の知情意を有て居るもの、幼児には幼兒相應の道徳があるもの、幼兒の道徳的感情は萌芽はあ  
るけれどもまだよく成長して居らぬもの、今現に  
四邊の境遇や大人の教導のかかげで、其萌芽は大  
きくなつて行くものである、といふことを深く考  
へてやる必要があると思ひます。

家庭に子供の必要なること

大阪 小島松之助

◎プラトンの謂へるが如く、家庭は夫婦并に子供  
の三人物よりなれる團體なり。夫婦間に生ずる子  
供は家庭の全調和に必要なものにして、子供な  
ければ夫婦の諧合其極に達せず、眞の家庭をなす  
能はず、自然の大目的たる種族の繁殖も出來ず、  
又、夫婦間の愛情は假令濃かなるにしても、夫婦